



さっぽろスマイルキッズ

令和5年度 年間報告

子どもは遊びを通して、自然の中で、集団活動の中で、社会参加の中で、好奇心や創造性、探究心を育みます。様々な体験を通じて得る想像力は、未来を担う子どもたちの成長にとって必要なことであると私たちは考えています。私たち、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会は、そんな子どもたちの体験活動の場を安定的に提供することを目的として、「こども基金 さっぽろスマイルキッズ」事業を行っております。平成21年4月の開設以降、多くの方々からご支援をいただき、子どもたちに体験活動の機会を提供して参りました。

今年度より、これまでの助成事業に加え、自主事業として「ミニさっぽろ2023チケットプレゼント」、「みんなでおとまりしてみよう！たきのウィンターキャンプ」を企画実施しました。募集定員を大きく上回る申し込みをいただき、子どもたちの体験活動機会への需要の高さをあらためて感じ、次年度以降も継続して事業を企画実施していく所存です。

令和5年度 寄付総額のご報告

寄付総額 465,428円

令和5年度も皆さまよりあたたかなご支援を賜りました。あらためまして、いつもこども基金の活動にご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。いただいた寄付金は、子どもたちの未来のために有意義に運用して参ります。今後ともご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日まで)にご寄付頂いた皆さま

弁護士法人名南総法律事務所 札幌事務所 様
道民防災コンサルタント株式会社 様
株式会社館野オフィスサービス 様
北海道デジタル・アンド・コンサルティング株式会社 様
株式会社アドバコム 様

人形劇団えりっこ 様
やまびこ座読み語りの会 様
人形劇団ばびふ 様

鈴木 静悟 様 橋部 由紀 様
櫛原 幸子 様 河合 喜美子 様
寺尾あっちゃん 様 池内 由美子 様 他5名様

※お名前につきましては、掲載の許可をいただいた方のみ掲載しております。
また、当財団ホームページでもご紹介しております。



令和5年度 助成事業・自主事業

「こども基金さっぽろスマイルキッズ」では、基金の趣旨に沿った活動を行う法人や個人・団体へ助成を行う助成事業と自主事業を行っております。新型コロナウイルス感染症流行以後、初めて自主事業を再開することができ、盛況に終えることができました。令和5年度の助成事業及び自主事業についてご報告申し上げます。

助成事業

『自然のなかで思いっきり遊ぼう！ ～DVシェルターを退所した親子のための キャンプ～』 特定非営利活動法人女のスペース・おん

DVシェルターの利用者を対象としたキャンプ事業。
事業は日常の不安や落ち込みを忘れるひと時となりました。
人生で初めてキャンプを体験する子どもたちも多く、大自然を
走り回って、空の下で仲間と食事を楽しみました。



〈事業実施日：令和5年9月2日～3日〉

『宇宙船地球号ミッション！In札幌・江別』 宇宙船地球号ミッション！札幌・江別実行委員会

「幸せ」についてみんなで考え、学ぶディスカッション形式の事業。
会場にいる参加者だけでなく、オンラインで離れた地域の参加者とも
つながり、活発な意見交流が行われました。参加者からは「次はい
つ？」「また参加したい」との声が聞かれ、盛況に終わりました。



〈事業実施日：令和5年7月2日・7月9日〉

『札幌市の中高生のためのフードバンク事業』 Hokudai Food Bank

北海道大学の学生によるフードバンク事業。
参加者アンケートでは「事業のおかげで、子どもたちが実生活で
食品ロスを減らすように心掛けるようになった」等の声が寄せら
れました。他にも団体の活動を知った札幌市内の高校生からの
ヒアリング依頼がある等、参加者及び市民のフードロスへの意
識に変化をもたらす効果を得ることができました。



〈事業実施期間：令和5年5月～令和6年2月末日〉

『2023滝野さとやま探検隊＝森と川はともだち＝』 特定非営利法人ネイチャープログラムデザイン

ネイチャーゲームや裏山探検を通して人間と動物との共生、川の生
態について考える事業。
事業を通じて豊かな森とキレイな川は密接につながっていることにつ
いて理解を深めました。参加者からは「豊かな自然のある滝野でこの
ような活動ができてよかった」、「また参加したい」等の声をいただきま
した。



〈事業実施日：令和5年8月20日・9月18日〉

『野あそびキャンプ』 特定非営利法人こども共育サポートセンター

ひとり親家庭を対象としたキャンプ事業。

滝野自然学園及び周辺の自然を最大限に活用し、自然体験活動の指導者のサポートにより川遊びや裏山散策、野外炊事などを実施しました。ひとり親家庭ではキャンプなどの体験活動への参加に対するハードルが高く、これまで子どもに体験させることができなかった家庭もあり、事業への需要の高さを感じました。



〈事業実施日：令和5年8月12日～15日〉

きんちゃんの自然学校 YOSHINOBORI

滝野自然学園のフィールドを活用し、ツリークライミングや川遊びを実施。

事業を通して、森に木があることが自然環境では大切な意味があることなどを知り、自然環境への興味関心を高めることができました。



〈事業実施日：令和5年10月20日〉

自主事業

『ミニさっぽろ2023 チケットプレゼント』

ひとり親家庭等を対象にミニさっぽろ2023(※)のチケットプレゼント企画を行いました。抽選で100名にプレゼントの予定でしたが、想定を上回る322名の応募がありました。

(※)ミニさっぽろ2023：子どもたちが仮想のまちでの生活体験や就業体験をするイベント。子どもたちが将来の夢について考え、豊かな育ちを促進することを目的に毎年開催

『みんなでおとまりしてみよう！たきのウィンターキャンプ』

1泊2日のウィンターキャンプを実施。滝野自然学園のフィールドを活かし、スノーシューハイクやチューブ滑り、キャンプファイヤー等、冬の遊びを思いっきり楽しみました。保護者の方からも大変好評をいただき令和6年度も継続して事業を行って参ります。



引き続きこども基金さっぽろスマイルキッズへ 皆様からのご支援をお願いいたします

～未来を担う子どもたちに創造性、探究心、想像力を～

ご寄付は、基金の拡充と、子どもの体験活動を通じた健全育成活動を幅広く支援するために活用させていただきます。



① クレジットカード(オンライン)によるご寄付

令和3年9月より、クレジットカードによるオンライン決済サービス「Square」でのご寄付受付を開始いたしました。
都度寄付(一度のみの寄付)と、毎月寄付をお選びいただけます。右のQRコードよりお進みいただけます。



② 銀行口座からのお振り込みによるご寄付

【銀行名】 北海道銀行 宮の沢支店
【口座番号】 普通 0589165
【口座名義】 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
理事長 本間 芳明(ほんま よしあき)



③ 現金によるご寄付

事務局等におきまして、直接のご寄付も受け付けております。

※上記②および③によるご寄付の場合は、お手数ですが、事前に事務局までご連絡いただきますよう、ご協力の程お願い申し上げます。

※当基金に対するご寄付には、特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用され、**所得税・法人税などの寄付金控除を受けることができます**。なお、ご寄付いただいた方には、寄付金控除の申告手続き用書類として領収書を発行いたします。

※ご寄付いただいた方のお名前につきましては、掲載の許可をいただいた方のみ、当財団ホームページ等におきましてご紹介させていただきます。

※3万円以上ご寄付をいただいた方へは、感謝状を贈呈させていただきます。

お問い合わせ先:(公財)さっぽろ青少年女性活動協会

総務課 こども基金事務局

〒064-0804

札幌市中央区南4条西6丁目8-3 晴ばれビル10階

TEL:011-299-4590

E-mail: sapporo.smilekids@gmail.com